

# 学びの 広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会

公民館活動 生涯学習  
文化振興 学校 スポーツ



## 『内陸線』で行く阿仁の道

～「美の国カレッジ」あきた学～

県生涯学習センターとの連携講座「北秋田キャンパス第3回講座」が8月7日、阿仁合駅周辺を会場に開催されました。

内陸線を利用して、鷹巣駅から阿仁合駅に向かう車内では、小林精一さん(元阿仁町助役)を講師に「阿仁街道と阿仁鉱山」について、当時の人々の暮らしや歴史、文化などを学びました。到着後は駅周辺を散策しながら、阿仁郷土文化保存伝承館や異人館を見学しました。

午後は、市役所阿仁庁舎を会場に齋藤壽胤さん(県

民俗学会副会長)から「街道と鉱山の信仰」について講義を受けて阿仁地域の歴史に理解を深めました。



阿仁合駅に到着



伝承館で説明を受ける受講生

## はつらつ軽運動教室

～いろんなスポーツにチャレンジ～

毎月1回、様々なスポーツを体験し、日頃の運動不足解消と交流を目的とした「はつらつ軽運動教室」が森吉総合スポーツセンターで行われています。

この教室は、毎月第3水曜日の午前中に開催されており、これまでに「ソフトバレー」「ミニテニス」「ユニカール」を体験しました。

どの競技も初心者対象ですので、講師の各協会の方たちの丁寧で分かりやすい指導により、ルールに従いながら楽しく体を動かしています。受講者の方が様々なスポーツを体験し、その中から自分にあ

った競技を見つけ、楽しんで続けていくお手伝いができるように今後もたくさんのスポーツを企画しますので、ふるってご参加ください。



ユニカールにチャレンジ

戦し、夜はバーベキューをしながら花火で多彩な夏の遊びを楽しみました。



イワナのつかみ取り



みんなでスイカ割り

## 川遊びと夏の遊び

～阿仁公民館わんぱくクラブ～

わんぱくクラブ「川遊びと夏の遊び」が8月4日、阿仁ふるさと文化センターを会場に行われました。

予定されていた川遊びは長雨による川の増水により残念ながら中止となりましたが、1年生から4年生までの参加児童15名は3班に分かれ、公民館支援ボランティア「阿求道会」会員の指導により班別対抗で、スマイルボーリング・輪投げ大会・フライングディスク・ボール遊びなどに汗を流したあと、お昼には流しソーメンをおなかいっぱい食べました。

このあと、スイカ割りやイワナのつかみ捕りに挑

### 森吉公民館講座受講者募集

申込み・問合せ  
森吉公民館 ☎ 72,3259

### 「新聞紙でエコバック作り」 ～身近な材料で作るステキなバック～

日時 9月7日(火)10時～12時  
場所 森吉コミュニティセンター  
講師 山野内キミ子さん  
定員 15人  
持ち物 ハサミ・鉛筆・ものさし・液体のり

### 「畳のへりバック作り」 ～綺麗な出来上がりです～

日時 9月9日(木)  
24日(金)・29日(水)  
10時～11時30分  
場所 森吉コミュニティセンター  
講師 菊地洋子さん  
定員 15人  
持ち物 裁縫道具・鉛筆・色鉛筆・ものさし  
材料代 2800円

### お知らせ

申込み・問合せ  
中央公民館 ☎ 62,1130

中央公民館の窓枠・サッシ工事のため会場の使用が制限されます。ご利用の皆様にはご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

### 花だんコンクール巡回審査

市花いっぱい運動推進協議会、花だんコンクール審査委員会では、9月17日(金)に応募者の方々の花だんを巡回審査します。設計・管理・推進方法を審査し、9月下旬に結果を発表します。

### 世界遺産登録に向けて

問合せ 生涯学習課文化班  
☎ 62,6618

### 第10回北秋田市縄文まつり

北秋田市の宝である伊勢堂岱遺跡の魅力伝えるために縄文まつりを開催します。

日時 9月18日(土)  
場所 伊勢堂岱遺跡現地  
第一部 午前9時30分～午後3時  
縄文体験教室  
勾玉づくり、土器・土偶づくり、火おこし、的あて、縄文料理  
第二部 午後1時～3時  
オカリナ、合唱、縄文踊り、邦楽演奏など。

### 世界遺産登録推進フォーラム

「ストーンサークルのやくわり」  
ストーンサークルは、縄文時代を生きた人々や社会にとって、どんな意味をもつのか? 専門家、調査担当者がわかりやすく説明します。

日時 9月19日(日)  
9時30分～4時20分  
場所 北秋田市文化会館  
講演 小林達雄 国学院大学名誉教授

「縄文人がストーンサークルに求めたもの」  
中村 大 総合地球環境学研究所 研究員  
「ストーンサークルをなぜそこに造ったのか」

### ふるさとの文化財

#### 北秋田市指定有形文化財(工芸)

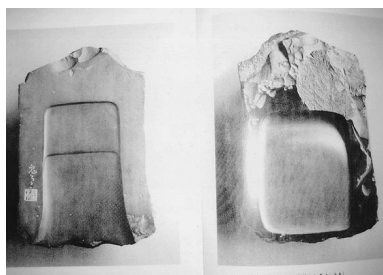
「木葉石」1個  
所在地・本城字館の下192  
所有者・金 和彦

#### 1、木葉石について

森吉湯の岱で産した木葉石が、硯に作られ明治天皇に献上されたという。『北家日記』(角館佐竹家)明治時代の百科事典には硯の材料として記事が出てくるという。現地調査によって、湯の岱と平田間の硯岱を流れる小又川の川底、白糸の滝上流の右の沢(硯の沢)で現在でも産することが確認されたといえます。

木葉石は、木の葉(植物など)が付いた温泉沈殿物、主として砂岩、凝灰岩などで、栃木県塩原温泉の木葉石が最も有名です。阿仁地方でも産しますが、硯材としては利用できないものはないという中で、森吉地区の木葉石は森吉火山の火山性碎屑物が沈積する時近くの植物の一部が混じって堆積したものと。植物の種類はブナやセコイア、カエデ、ツタが多いという。

2、木の葉硯の歴史について  
木葉石がいつごろ発見され、硯に作られたかよく分かっていないが、石そのものの発見年代は、湯の岱開村の享保5年(1720年)か、砂子沢開村の天和2年(1682年)或



木葉硯

はそれ以前ということも考えられるという。享和2年(1802年)に湯の岱にやってきた菅江真澄はこの石を採取しようとして失敗している。『雪の秋田根』次の年にも挑戦したがまた採ることができなかったという。口伝によると、木葉石産地は古くから庄司家の管轄で、現地に阿仁前田まで運ばせ庄司家を中心に冬期に硯作りを楽しんでいたという。金家には松亭兎月が作った人形や印刻、道具等が多く残っている。

先の『北家日記』の記録では、安永6年(1775年)江戸時代の中頃にはすでに作られ、当時の大名の間の贈り物にもなっていたようです。昭和59年3月21日指定有形文化財資料「木葉硯」松亭兎月作 森吉町史編さん会、『森吉山麓菅江真澄の旅』(森吉山ダム工事事務所) 紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷一